

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2008-161269

(P2008-161269A)

(43) 公開日 平成20年7月17日(2008.7.17)

(51) Int.Cl.

F 1

テーマコード (参考)

D 0 6 F 57/00 (2006.01)

D 0 6 F 57/00 3 4 0

A 4 7 F 7/19 (2006.01)

A 4 7 F 7/19 A

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2006-351458 (P2006-351458)

(22) 出願日 平成18年12月27日 (2006.12.27)

(71) 出願人 594040475

有山 博

東京都板橋区大谷口上町40-6

(74) 代理人 100061284

弁理士 斎藤 侑

(74) 代理人 100088052

弁理士 伊藤 文彦

(72) 発明者 有山 博

東京都板橋区大谷口上町40-6

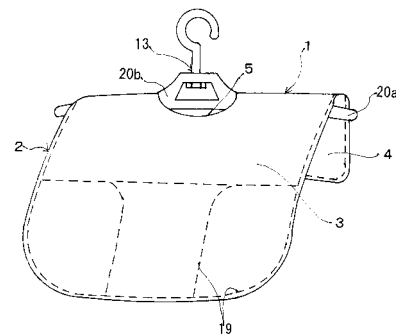
(54) 【発明の名称】 衣服陳列兼物干し用ハンガー

(57) 【要約】

【課題】衣服の衣服陳列用具兼洗濯物干し用ハンガーに関する。

【解決手段】方形状シート本体(1)の中央部より一側辺に偏った位置に透孔(5)を穿ち、また、該方形状シート本体の一側辺より前記透孔に達するスリット(8)を入れて、該スリットの左右に重合片(9)(10)を形成し、該左右重合片を適宜の幅重ね合わせ、結着部材(12a)で接合し、該方形状シート本体を前記透孔を境目とする胸部(3)と背部(4)とを有する胸像本体(2)に形成し、該胸像本体(2)の透孔(5)に吊下げ部材(13)又は(14)を挿通して成る衣服陳列用具兼洗濯物干し用ハンガーとするにことにより、陳列商品を立体的に見せることができ、物干しとして用いた場合も洗濯物の乾きが早い。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

方形状シート本体の中央部より一側辺に偏った位置に透孔を穿ち、また、該方形状シート本体の一側辺より前記透孔に達するスリットを入れて、該スリットを境目とする左右重合片を形成し、該左右重合片を適宜の幅重ね合わせるとともに、該重合部を面ファスナーあるいはスナップボタンなどの結着部材で着脱自在に接合して前記方形状シート本体を胸部と背部とを有する胸像本体に形成し、該胸像本体の前記透孔に吊下げ部材を着脱自在に挿通支持させたことを特徴とする衣服陳列物干し用ハンガー。

【請求項 2】

前記吊下げ部材が腕部が棒状の衣服用ハンガーであることを特徴とする請求項 1 記載の衣服陳列兼物干し用ハンガー。

10

【請求項 3】

前記吊下げ部材が天面にフック杆を有する円錐台状の円筒体であることを特徴とする請求項 1 記載の衣服陳列兼物干し用ハンガー。

【請求項 4】

方形状シート本体の外周縁に折り曲げ自在の小径の線材または薄い金属板をなどの補形部材を配設した方形状シート本体であることを特徴とする請求項 1 記載の衣服陳列兼物干し用ハンガー。

【請求項 5】

方形状シート本体がメッシュ状布地または成樹脂製のネット状シートであることを特徴とする請求項 1 記載の衣服陳列兼物干し用ハンガー。

20

【請求項 6】

前記円錐台状の円筒体からなる吊下げ部材の背面が、平坦面に形成されていることを特徴とする請求項 3 記載の衣服陳列兼物干し用ハンガー。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

この発明は、ブティックなど洋品店における衣服の販売促進のために、衣服を店頭陳列するのに用いる衣服陳列用ボディトルソーに代わる衣服陳列用具として、また衣服用ハンガーあるいは洗濯物干し用ハンガーとしても使用できる衣服陳列兼物干し用ハンガーに関する。

30

【背景技術】**【0002】**

従来、デパートや洋品店などにおいて、婦人服やＴシャツその他の衣料品を販売するについて、立体的な人体形状のマネキンに衣類を着せて陳列を行うか、腕や顔がない上半身だけのボディトルソーに衣類を着せて陳列をおこなっている。

これらのディスプレイ用具は、プラスチックや石膏などで作られているため、使用後の廃棄処理に問題があるために廃棄処理を容易にしたマネキン、また紙製洋服ハンガー等が提案されている。

40

【特許文献 1】実用新案登録第 3 0 5 3 0 7 3 号公報

【特許文献 2】実用新案登録第 2 5 1 4 8 8 9 号公報

【特許文献 3】実用新案登録第 3 1 2 1 2 5 0 号公報

【発明の開示】**【発明が解決しようとする課題】****【0003】**

上述の販売促進のための衣服を着せて陳列するための全身像のマネキンあるいは、身体の一部を表したボディトルソーでの陳列は、広いスペースが必要であり、デパートなどの売場面積の広い一部の店舗では有効であるが、規模の小さい洋品店では陳列することが難しい問題がある。

50

【 0 0 0 4 】

また、マネキンやボディトルソーを使用しない時は、それらの保管場所が必要となる問題がある。また、多数の商品を展示するのに洋服用ハンガーに衣服を掛けてマネキンの代わりとしているが、洋服用ハンガーでは展示する衣服に膨らみが出ないため、マネキンやボディトルソーのような衣服のシルエットを綺麗に出すことができず、見栄えが悪い問題がある。

【 0 0 0 5 】

上記の課題を解決するために出願人は、先に実用新案登録第 3 1 2 1 2 5 0 号公報（特許文献 3）に示すとおり、洋服用ハンガーを用いての陳列であっても、衣服の形状を綺麗に見せることができ、不使用時でも邪魔にならない紙製の衣服陳列用ボディトルソーを提案した。

10

【 0 0 0 6 】

すなわち、段ボール、板紙、合成紙などの横長矩形状のシート、該シートの隅部を面取りして直線と曲線から成るシート本体を形成し、該シート本体の中央部より上方（長辺側）に偏って洋服用ハンガーの首部挿通用の透孔を設け、該透孔を挟んで長手方向（短辺側）に洋服用ハンガーの肩部支持用のコ字状長孔を設け、またコ字状長孔の側縁部を長辺方向に折り込み可能に山折り線を形成するとともに、前記コ字状長孔の中心線部付近よりシート本体を二つ折りして、シート本体を前身頃部と後身頃部とに形成した紙製の衣服陳列用ボディトルソーを提案した。

【 0 0 0 7 】

20

そして、上記のような構成により、ハンガー肩部支持片により前身頃と後身頃は外方向に押圧されスカートを開いた状態に広がるので、その状態で衣服を被せると衣服に膨らみが生じ、従来のボディトルソーと同様に立体的に見せることができるので、単に洋服用ハンガーに掛けたものに比べ宣伝効果を上げることができる。

しかしながら、この衣服陳列用ボディトルソーは組み立てるのに手間が掛かる問題がある。

また、上記の衣服陳列用ボディトルソーは、商品の陳列以外の用途には使用できない問題がある。

この発明は商品の陳列用具以外に洋服用ハンガーとして、又洗濯物干し用ハンガーとしても使用することができるハンガーを提供することである。

30

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 8 】

この発明は上記の課題を解決するために、方形状シート本体の中央部より一側辺に偏った位置に透孔を穿ち、また、該方形状シート本体の一側辺より前記透孔に達するスリットを入れて、該スリットを境目とする左右重合片を形成し、該左右重合片を適宜の幅重ね合わせるとともに、該重合部を面ファスナーあるいはスナップボタンなどの結着部材で着脱自在に接合して前記方形状シート本体を胸部と背部とを有する胸像本体に形成し、該胸像本体の前記透孔に肩掛け部が棒状の洋服用ハンガーあるいは天面にフック杆を有する円錐台状の円筒体からなる吊下げ部材を着脱自在に支持させた衣服陳列兼物干し用ハンガーに形成したことである

40

【 0 0 0 9 】

また、方形状シート本体の外周縁に折り曲げ自在の小径の線材または薄い細帯状の金属板などの補形部材を配設した方形状シート本体とし、該方形状シート本体は、全面に通気性に優れたメッシュ素材の布地又は網目を有する合成樹脂製のシートで衣服陳列兼物干し用ハンガーに形成したことである。

【 0 0 1 0 】

また、胸像本体の透孔に装着する円錐台状の円筒体からなる吊下げ部材の背面を、平坦面に形成した衣服陳列兼物干し用ハンガーに形成したことである。

【発明の効果】

【 0 0 1 1 】

50

上記の様に構成した胸像本体の透孔（首部）に、フック杆と肩掛け部が棒状に形成された既製品の洋服用ハンガーのフック杆を胸像本体の透孔に、挿通し吊り下げるか、該透孔に天面にフック杆を有する円錐台状の円筒体を挿入するだけで衣服陳列兼物干し用ハンガーに形成できる。

【 0 0 1 2 】

この衣服陳列用具に衣服を被せると、胸像本体の胸部の形状により衣服に膨らみが生じ、従来のボディトルソーと同様に陳列衣服を立体的に見せることができるので、単に洋服用ハンガーに掛けた従来の陳列方法と比べ宣伝効果を上げることができる。

【 0 0 1 3 】

また、方形状シートに形成した左右の重合片の重ね合わせ方により、胸部本体の胸部の傾斜面を変化させることができる。

10

【 0 0 1 4 】

円錐台状の円筒体から成る吊下げ部材の背面の周壁面を平坦面としたので、店先の壁面などに吊り下げたときに背部の膨らみが小さいので壁面との接触が良く、展示品が安定する。

【 0 0 1 5 】

また、市販されている肩掛け部が棒状に形成されているハンガーに衣服を吊るした場合、型崩れを起こすおそれがあるが、衣服を胸部及び背部から成る胸像本体で保持しているので、衣服を傷めることがない。

さらに、方形状シート本体の外周縁に配設した線材あるいは金属板から成る補形部材により、胸像本体の形状を掛けようとする衣服に合わせた形状に補正することができるので、型崩れを起こすことがない。

20

【 0 0 1 6 】

さらに、胸像本体を通気孔を有するシートあるいは、ネット状の方形状シート本体で構成した場合に、湿気を含んだ衣服を掛けても、通気性が良く湿気をとることができるので、洗濯物干しハンガーとして好適である。

【 発明を実施するための最良の形態 】

【 0 0 1 7 】

この発明を実施する最良の形態を図面に基づいて説明する。

【 実施例 】

30

【 0 0 1 8 】

図 1 は、この発明の衣服陳列兼物干し用ハンガーの一実施例の斜視図、図 2 は方形状シート本体の展開図、図 3 は組立てた状態を示す背面図、図 4 及び図 5 は使用状態を示す図である。

また、図 6 ~ 図 10 は他の実施例で、図 6 はネット状の方形状シート本体を用いて形成した胸像本体の斜視図、図 7 は同吊下部材として肩掛け部が棒状のハンガーを用いた胸像本体の正面図、図 8 同背面図であり、図 9 は吊下げ部材として円錐台状円筒体を用いた状態の正面図、図 10 は使用状態を示す図である。

【 0 0 1 9 】

図 1 において、1 はこの発明の衣服陳列兼物干し用ハンガーであり、2 は胸像本体、3 は胸部、4 は背部、5 は透孔（首部）、13 の吊下げ部材の肩掛け部が棒状腕杆 20a の通常の衣服用ハンガーである。

40

胸像本体 2 を構成する方形状シート本体 S は、図 2 の展開図に示すとおり、胸像本体 2 を構成する合成樹脂シートなどで横長方形状シート本体 S に形成し、該横長方形状シート本体 S の各角部を面取り 6 a、6 b、6 c、6 d し、また、方形状シート本体 S の適宜位置に折り曲げ易い小径の線材、あるいは薄い細幅の金属板材などの補形用部材 19 を配設して成る。

【 0 0 2 0 】

このように形成した方形状シート本体 S の中央部より一長辺 7 側に偏った位置に、吊下げ部材 13 である衣服用ハンガーの首部 20b を挿通支持する透孔 5 を設け、該透孔 5 を境と

50

して、方形状シート本体 S を幅広の胸部 3 と幅の狭い背部 4 に形成する。

また、一長辺 7 側の端縁より透孔 5 に達するスリット 8 を入れ、該スリット 8 を境として左右重合片 9、10 を形成する。

【0021】

上記の様に形成した方形状シート本体 S を、折り曲げ位置 L - L より折り曲げし、図 3 に示すように左右重合片 9、10 を接合して胸部 3 とそれに連なる背部 4 とから成る胸像本体 2 を作るのであるが、重ね合わせた重合片 9、10 の結着部材 11 は、実施例ではステープル針で繋止して成るが、これに限定されるものではなく、図 8 に示すように面ファスナー 12 あるいはスナップボタンなどの結着部材 11 を用いても良い。

【0022】

なお、重合片 9 と 10 との重合により形成される胸像本体 2 の形状は、重合部 (A・B・C・D) の重ね具合により、例えば浅くすれば肩幅を広く、深く重ねれば胸厚形状にすることができる。

【0023】

上記胸像本体 2 の透孔 5 に挿入支持される吊下げ部材 13、14 は、一般に市販されている肩掛け部が棒状腕杆 20a の衣服用ハンガーから成る吊下げ部材 13 でも良いが、図 5 及び図 9 に示すように、硬質のプラスチックで形成した天面にフック杆 15 を取り付け付けた円錐台状筒体 16 の吊下げ部材 14 を用いても良い。

なお、上記円錐台状筒体 16 からなる吊下げ部材 14 は、図示されていないが一側壁を平坦面に形成して成る。

この様に、円錐台状円筒体 16 の背面を平坦面に形成することにより展示する部屋の壁面などに吊下げた際に、衣服陳列品を安定させることができる。

また、図 5 及び図 9 に示す様に円錐台状筒体 16 が首部の役目をするので、商品の見栄えを良くすることができる。

【0024】

図 6 ~ 図 10 は他の実施例で、図 2 に示す方形状シートを網目状に編んだ布地、あるいは防虫網の如きネット部材シートとし、それを用いて図 6 ~ 図 9 に示すとおり胸像本体 2 を形成し、この様に形成した胸像本体 2 の透孔 5 に、図 6 ~ 7 に示す様に肩掛け部が棒状腕杆 20a の衣服ハンガーから成る吊下げ部材 13 を挿通するか、図 9 の様に円錐台状円筒体 16 に形成した吊下げ部材 14 を相通しても良い。

なお吊下げ部材 14 のフック杆 15 の杆本体を、円錐台状円筒体 16 内を貫通させ突き出た下端部 17 に連結環 18 を設けることにより、複数の被服を吊り下げることができる。い

【0025】

この様に構成した方形状シート本体 S を組み立て形成した衣服陳列兼物干し用ハンガーに展示しようとする衣服 21 を被せると、胸部 3 に膨らみのある胸像本体 2 が形成されているので、従来の洋服用ハンガーを用いても陳列衣服 21 に膨らみが生じ、従来のボディトルソーを用いたのと同様のシルエットを美しく見せる効果が得られる。

【0026】

また、図 6 ~ 9 に示す陳列用具に図 10 に示すように洗濯物を被せて干し物用ハンガーとして用いた場合に、従来の洗濯物の干し方は、布地同士がくっつき易く、そのために乾きにくいのを、この発明の衣服陳列兼物干し用ハンガーを用いた場合、胸像本体がネット部材で、また胸部の膨らみにより通気性が良く乾きが早い。

また、ワイシャツ 22 などを干した場合に型崩れがないので、アイロン掛けなどが楽である。

【図面の簡単な説明】

【0027】

【図 1】この発明の衣服陳列兼物干し用ハンガーの一実施例の斜視図である。

【図 2】方形シート本体の展開図である。

【図 3】方形シート本体を組み立てた状態を示す背面図である。

【図 4】使用状態を示す図である。

10

20

30

40

50

【図５】使用状態を示す図である。

【図６】この発明の衣服陳列用具をネット状シートを用いて形成した胸像本体の斜視図である。

【図７】同上の正面図である。

【図８】同上の背面図である。

【図９】吊下げ部材として円錐台状円筒体を用いた状態の正面図である。

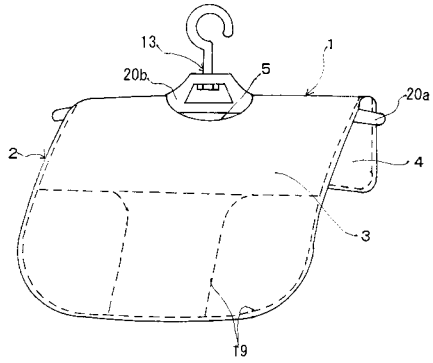
【図１０】使用状態を示す図である。

【符号の説明】

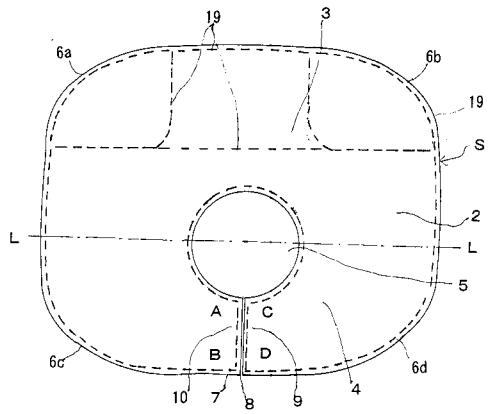
【００２８】

1	衣服陳列兼物干し用ハンガー	10
2	胸像本体	
3	胸部	
4	背部	
5	透孔（首部）	
6 a ~ 6 d	面取部	
7	一長辺側	
8	スリット	
9	重合部	
10	重合部	
11	結着部材	20
12	面ファスナー	
13	吊下げ部材	
14	吊下げ部材	
15	フック杆	
16	円錐台状円筒体	
17	下端部	
18	連結環	
19	補形用部材	
20 a	棒状腕杆	
20 b	首部	30
21	陳列衣服	
22	ワイシャツ	
S	方形状シート	
N	ネット状シート	

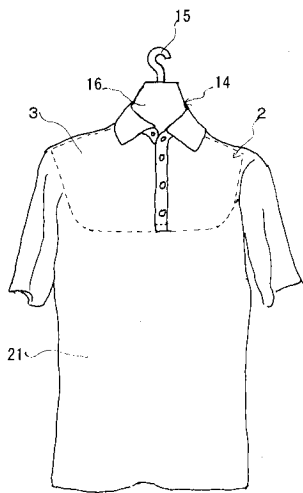
【図 1】



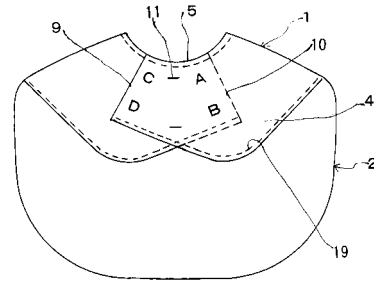
【図 2】



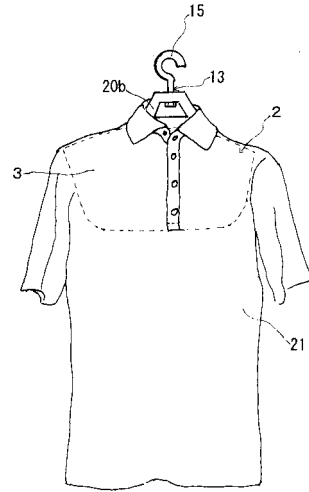
【図 5】



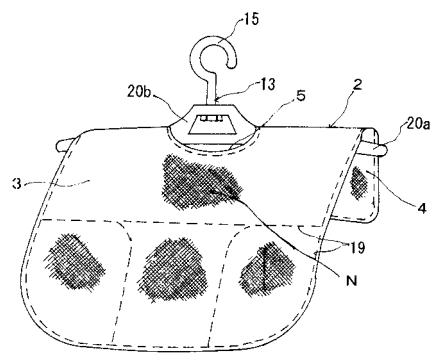
【図 3】



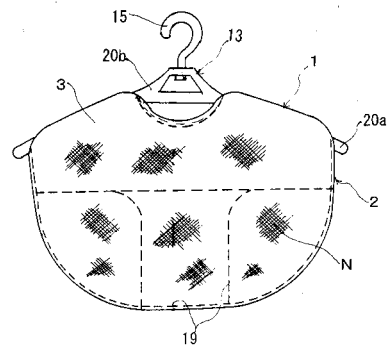
【図 4】



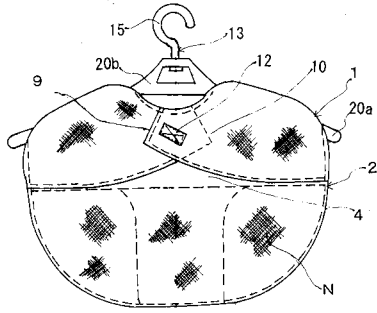
【図 6】



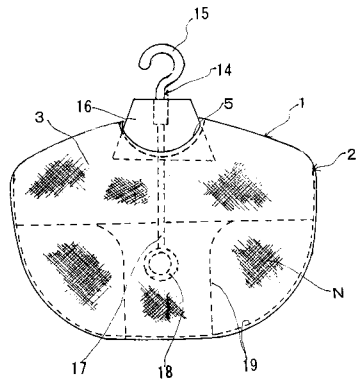
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【図 10】

